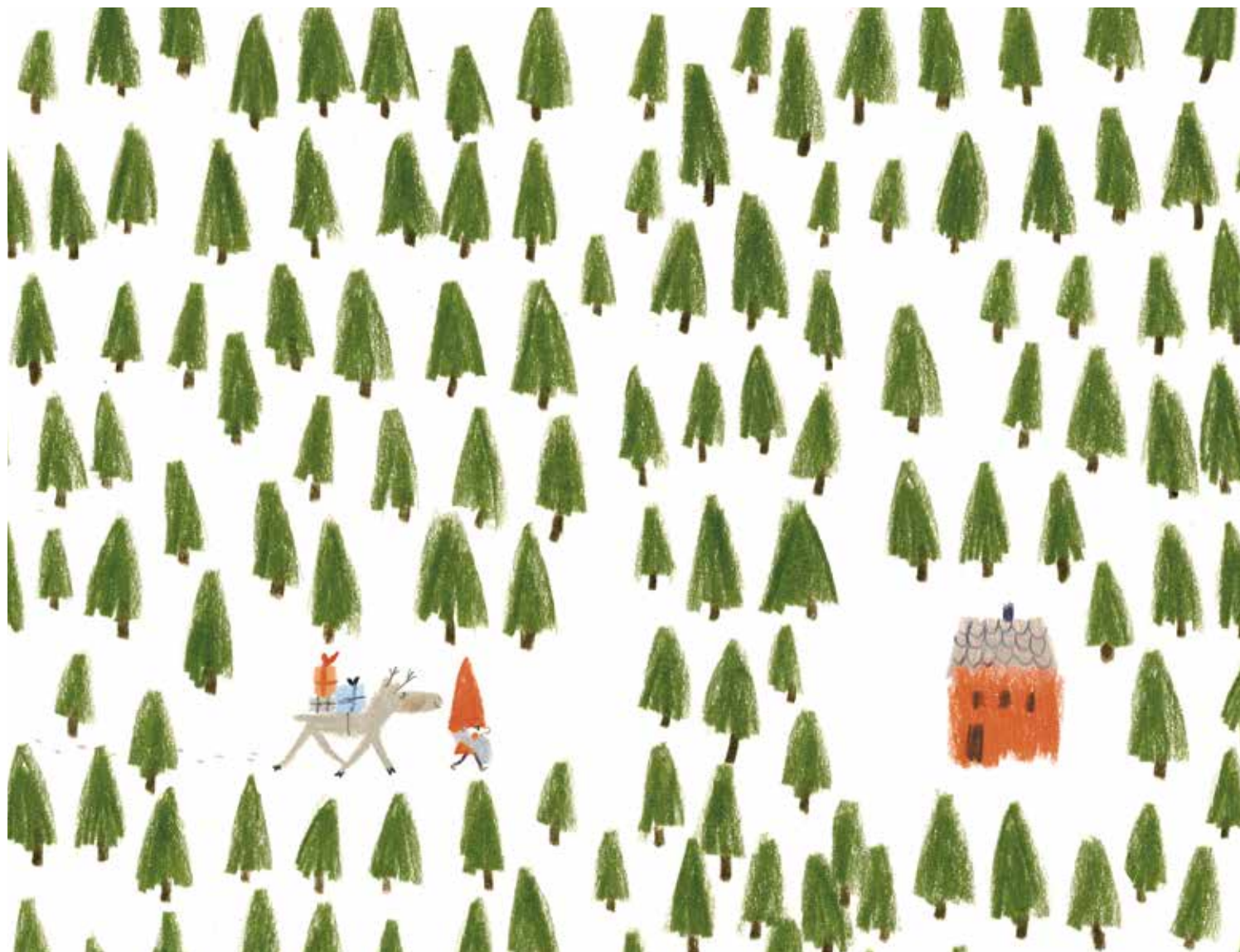


石川県七尾美術館だより

平成28年10月1日発行
編集・発行 (公財)七尾美術財団

第87号(秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2016イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展

「ひゃくおくまんのサンタクロース」
マリカ・マイヤラ(フィンランド)

展覧会紹介

平成28年10月1日(土)～

12月28日(水)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2016イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月3日(木・祝)～12月11日(日)

【会期中無休】

◆第1・第2・第3展示室

1964年、イタリアのボローニャで国際的な児童書専門見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」が始まりました。その3年後には、ブックフェアで絵本原画展が開催され、1976年からはコンクールを実施し、その入選作品を展示する形になりました。毎年継続して実施され、日本に初めて紹介されたのは、1978年の西宮市大谷記念美術館でした。

イタリアでの絵本原画展は今年でちょうど50回目となりました。ブックフェアでは世界各国の出版社がブースを構え版権の売買をするため、多くの編集者が集まり、イラストレーターにとってはまたとない売り込みの機会となっています。加えて、コンクールへは誰でも応募できることから、新人イラストレーターの登竜門ともなっており、



「山」
ルーカ・ベッタレッリ (イタリア)



「ナイル川を探したワニ」
イラチェ・ロベス・デ・ムニン(スペイン)

【今年の審査員】
クラウス・フーマン(編集者、アラジン出版/ドイツ)
セルジオ・ルッツィエール(イラストレーター/イタリア)
フランシーヌ・ブシエ(編集者、ラ・ジュワ・ド・リール出版/フランス)
ネイサン・フォックス(イラストレーター/アメリカ)
三浦太郎(絵本作家/日本)

ボローニャから多くの絵本作家が誕生してきました。インターネットの普及はコンクルールの世界にも影響を与えています。近年デジタル化されたイラストをパソコン上で審査するコンクルールが増加していますが、ボローニャ展は、今でも5人の児童書の専門家が一堂に会し、話し合いながら5枚1組のオリジナル原画を審査するという、稀有なコンクルールなのです。

さて、記念すべき今年の入選者は、ヨーロッパ、アジア、中東、北米、南米の18カ国、77組(日本人10組含む)です。世界61カ国、3191組の応募作品から、新しい出会いを求めて、独創性と物語る力、クオリティをクリアした作品が選び出されました。6月30日には板橋区立美術館を会場に第50回記念式典が開催され、秋篠宮妃紀子殿下がお成りになり、ご挨拶の言葉を賜りました。こうして日本での巡回のスタートとなりました。

ニャ展は、当館での巡回のスタートとなります。入選を重ねる作家のなかには、物語によって作風や画材を使い分け、一見して同じ作家だと気付かないときもあります。これまでの図録も展示します(欠本あり)、50年を機会に、お気に入り作家の過去の入選作品を探してみたいかがでしようか。



「はだかの王様」
ホワン・リンシン(台湾)



「美女と野獣」
ヴェロニカ・ルッフアート(イタリア)

【特別展示：ボローニャ展50年の歩み】

イタリアでのボローニャ展開催50回を記念して、50枚のパネルでその歴史をたどり、歴代審査員や入選者などの他、主な出来事をご紹介します。第1回展で紹介された松原直子や、初期に参加した藤田桜の原画も展示します。ボローニャ展を舞台に、現在では著名な絵本作家が審査員として、また出品者としてどのように関わってきたのかをご覧ください。

【映像コーナー】

今年1月に行われたボローニャ展作品審査会、3月に開催されたブックフェアの様子に、審査員や入選作家、編集者へのインタビューを交えて紹介します。絵本の世界を目指す方は必見!!

【絵本コーナー】

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガッツィ賞を受賞した世界の絵本、おすすめ絵本など約100冊をご覧ください。

※ラガッツィ賞とは?
グラフィックデザインや
ブックデザインの優れた児童書に贈られる賞。



「ジャングル・ブック」
アリョーシャ・ブラウ(ドイツ)

●●ボローニャ展関連イベント●●

絵本アニメ上映会【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11/5(土)、12(土)、19(土)、23(水・祝)、26(土)、12/3(土)、10(土)
時間 11:00～11:40、13:00～13:40
会場 アートホール

かんたん絵本を作ろうよ！【要観覧券】

不要となったポスターなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00～16:00
※11/27(日)を除く
対象 4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)
定員 各日10名(要申込、先着順)
持ち物 不要なポスターなど
協力 絵本の会 もこもこ
会場 展示室内

おはなし劇場【入場無料】

絵本を大型スクリーンに投影しての読み聞かせ、温かみのある人形劇の上演などで、物語の世界へご招待します。簡単な手作りコーナーもあります。

開催日 11/13(日)
時間 10:30～11:30、13:00～14:00
協力 NPO法人 ぽっかぽか
会場 アートホール

「のまりん」の紙芝居劇場【入場無料】

紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

開催日 11/20(日)
時間 11:00～11:40、13:00～13:40
出演 のまりん(野間成之氏)
会場 アートホール

たけうちちひろサイン会【要整理券】

'15、'16の入選作家によるサイン会。当日、著作本をお買い上げの方に整理券を配布します。(1人2枚まで)

開催日 11/27(日)
時間 ①10:00～11:00
②13:00～14:00
整理券 各回15枚(先着順)



「ぼくの作り方」
たけうち ちひろ(日本)

切り紙でポップアップ！【要観覧券&参加費】

ロボットや動物など、好きな型紙と色画用紙を選んでオリジナルカードを作ります。

開催日 11/27(日)
時間 ①11:00～12:00 ②14:00～15:00
講師 たけうちちひろ氏
対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定員 各回10名
(要申込、先着順)
参加費 500円
会場 展示室内



©たけうち ちひろ

ナイトミュージアム【要観覧券】

いつもは「お静かに」と注意される展示室ですが、「会話を楽しみながら鑑賞したい」「絵本を読み聞かせたい」という方のための夜間開館です。

日時 12/3(土)、17:00～20:00
※展示室が若干賑やかになる可能性があります。
「かんたん絵本を作ろうよ」「切り紙でポップアップ」の申込受付は10/22(土)9:00より電話にて。

●●ボローニャ展グッズ販売●●

ミュージアムショップコーナーではボローニャ展関連グッズを販売します。入選作家の絵本を和書・洋書と取り揃え、日本人作家のオリジナルグッズも販売します。人気商品は会期中中でも売切れてしまうこともありますので是非、お早めにお立ち寄りください。



◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	800円	3500円	700円
			3000円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「能登地区の文化財」

「うけつがれてきた珠玉の名品」

10月1日(土) ～ 23日(日)

第2展室

「能登国」のながれ

史料によれば、「能登国」の成立は奈良時代の養老2年(718)のこと。その後一時期越中国(富山県)の一部となりましたが、天平宝字元年(757)に再び国として独立しました。

七尾の地に国衙が置かれて国分寺も建立、平安時代頃には大陸の渤海国との交易の玄関口ともなります。鎌倉時代、武士の世が訪れると長谷部信連(?～1218)が地頭として派遣され、室町時代には守護大名・能登畠山氏の領国に。

応仁の乱以降、畠山氏は戦国大名として能登一国を統治、七代当主義総(1491～1545)の頃に全盛期を迎えます。拠点の七尾は「能登畠山文化」と呼ばれる繁栄を謳歌しました。

しかし戦国時代末期、能登畠山氏は越後・上杉氏によって滅ぼされ、能登国は上杉・織田の支配を経て加賀前田氏の版図に組み込まれます。



県文「印鑰明神垂迹図」 七尾市・印鑰神社蔵

そして江戸時代約260年間は加賀藩領として「加賀百万石」の一翼を形成。やがて明治の世を迎えると石川県に編入され、「石川県能登方」となり現在に至るのです。

本展の概要

長い歴史と文化を持つ能登地方。その過程で様々な作品や史料が生み出されました。それらは寺社や個人、近年では博物館施設などに大切に保管されて現在に至っています。

そして「能登ゆかりの美術工芸品の紹介」を大きなテーマとしている当館にも、多くの「ゆかりの美術工芸品」が所蔵、もしくは寄託という形で収蔵されています。それらは時代ごとの歴史や文化、人びとの「いとなみ」を今の私たちに伝えてくれる、大変貴重な存在といえるでしょう。



市文「猿猴図屏風」長谷川等伯 当館蔵

そこで本展では、当館収蔵品などより能登に関連する絵画を中心にあわせて17点を展示。奈良時代からの伝統形式で描かれたという「印鑰明神垂迹図」(七尾市・印鑰神社蔵、石川県指定文化財)をはじめとした仏画や、「加賀百万石」の祖・前田利家(1538?～99)の父を描いた「前田利春像」(七尾市・長齡寺蔵、重要文化財)といった肖像画、そしてもちろん「能登関連の絵画」として不可欠な長谷川等伯(1539～1610)や、その一門「長谷川派」の作品なども紹介します。



市文「十六羅漢図」(部分) 長谷川派 七尾市・悦叟寺蔵



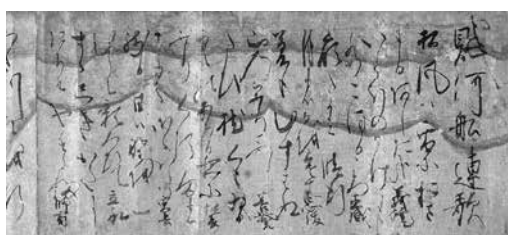
重文「前田利春像」 七尾市・長齡寺蔵

しかも今回、等伯四男で父を継いで絵師となつたとされる長谷川左近(1593?～)筆の「十六羅漢図屏風」(個人蔵)と、江戸時代後期に活躍し「能登の大雅堂」と称された、文人画家・池野観了(1753～1830)が晩年期に描いた「竹図屏風」(個人蔵)の2作品を初公開。

さらに「特別展示」がもうひとつ。傷みが著しかったことから、約1年間の修復作業を経て見事に復活を遂げた、能登畠山氏の栄華を今に伝える史料「賦何船連歌」(七尾市蔵、石川県指定文化財)を、修復後初めて皆さまにご披露します。

いずれも普段は、なかなか観ることのできない非常に貴重な文化財ばかり。ぜひこの機会にご鑑賞ください。

県文「賦何船連歌」(部分) 七尾市蔵



「竹図屏風」(部分) 池野観了 個人蔵



同時開催

「色絵磁器の華 九谷焼」

「池田コレクションより」

第1展示室

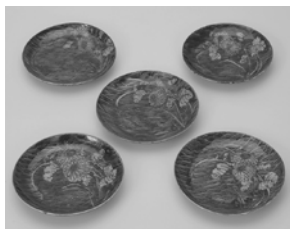
「九谷焼」は石川県を代表するやきもの。江戸時代前期、加賀国大聖寺(現在の石川県加賀市)で制作されたとする「古九谷」を起源とし、幕末期に主に加賀国の各窯で生産された「再興九谷」や明治・昭和期の「近代九谷」を経て現代へ至る、約360年もの歴史を有する伝統工芸です。

その様式は、紫・緑・黄の色釉をダイナミックに用いた「青手」、その3色に紺青・赤を加えた5色の色釉をフル活用する「五彩手」、さらに赤の細密描写を基本に金彩を加える「赤絵(金欄手)」の3スタイルが基本。「青手」の大胆なデザインや「五彩手」の丁寧で潇洒な上絵、「赤絵」の精緻で華麗な意匠などにより、世界的にも高い評価を受けています。

本展では、七尾市出身の実業家・池田文夫氏(1907〜87)が蒐集した、当館所蔵品の中核「池田コレクション」より、各種の九谷焼など計30点を紹介します。



「色絵山水図富士形小皿 古九谷」
(池田コレクション)



「青手波に菊図丸小皿 古九谷」
(池田コレクション)

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	350円	280円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	220円		

今年も「山の寺の日」が開催されます！

七尾を代表する歴史スポット「山の寺寺院群」。安土桃山時代、能登国を領有した前田利家が小丸山の地に築城した際、その外郭防衛線として七尾城下の各所に点在していた寺院を、1箇所集結させたのがはじまりと伝わります。当初は29箇所によって形成されていたといわれますが、その後約400年を経て現存するのは計16箇所。現在「山の寺寺院群」は観光地として人びとに親しまれているのみならず、貴重な作品や史料を数多く所蔵する七尾の「文化財の宝庫」でもあります。

その「山の寺」で一昨年にスタートした「山の寺の日」。各寺院が宗派を超えてまとまり各種イベントが開催され、この日は同エリア全体が大いに盛り上がります。中でも普段はみることのできない、貴重な寺宝の特別公開はまさに醍醐味。長谷川等伯や「長谷川派」の作品も鑑賞できます。

さらに3回目を迎える今年は、例年にプラスして「特別展示」も予定されています。そのテーマとはズバリ「涅槃図」。各寺院が所蔵する「涅槃図」が一斉公開されるという豪華イベントです。室町時代初期制作という古図から、「長谷川派」絵師たちによる共演、そして近代以降の新作など、様々な「涅槃図」たちが貴方をめくるめく「涅槃図世界」にいざなってくれることうけあい。

「山の寺」をめいっぱい満喫できる、1年に1度だけの貴重なチャンス。当日はぜひとも足を運んでみてはいかがでしょうか。※詳細は「山の寺の日」実行委員会事務局(長壽寺内 ☎0767-53-1247)にお問い合わせください。



平成28年度「山の寺の日」
10月22日(土) 午前9時〜午後4時

貸館催し物案内

市民ギャラリー

第11回 彩の会&写団のと展

10月7日(金)〜10日(月・祝)

最終日は午後4時まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ彩の会と写真グループ写団のとの会員27人が近作約90点を展示発表します。今年は連休の開催です。芸術の秋。お誘い合わせ、ぜひご来場ご高覧下さい。

主催 七尾市文化協会

連絡先 彩の会事務局 加地求

☎0767(52)1613

子ども「長谷川等伯展」

10月12日(水)〜19日(水)

市内小学校児童による、長谷川等伯の水墨画作品を真似た作品展示を行います。本物の等伯作品の展示に合わせての展覧も魅力となっています。水墨画による力作を是非ご覧下さい。

主催 等伯生誕の地

PR事業支援委員会

連絡先 七尾市教育委員会

文化課内

☎0767(53)8437

MOA美術館

七尾・中能登児童作品展

10月20日(木)〜23日(日)

初日は午後1時から

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子供たちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひご鑑賞ください。

10月23日午前10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 MOA美術館七尾・中能登

児童作品展実行委員会

連絡先 ☎0767(53)3914

第62回七尾市美術展覧会

10月28日(金)〜31日(月)

最終日は午後3時まで

一般の部・学生の部(幼児・小・中・高校生)の応募作品展です。市民総合展覧会で能登最大の規模となります。青少年の美術向上と育成をめざしています。是非、足をお運び下さい。力作ぞろいです。

主催 七尾美術作家協会

連絡先 副会長 橋本義則

☎0767(53)3013

アートホール

ドルチェピアノコンサート

10月9日(日)

開演 午後1時30分

年に一度の子供から大人までのピアノ発表会です。今年はサクソとのアンサンブルもあります。

入場無料です。どなたでもお気軽に入場して下さい。

主催 ピアノグループ dolce

連絡先 井藤真理

☎0767(58)1253

美術館でシャンソンはいかが

10月15日(土)

開演 午後2時30分

北國文化センターやさしいシャンソン教室(七尾)第3回発表会です。秋の昼さがりと一緒に歌ってみませんか。どこかで聞いたことのあるメロディーに心がときめきます。

主催 北國文化センター七尾教室

連絡先 数内ようこ

☎090-2037-5237

和倉フロイデ

さよならコンサート

10月22日(土)

開演 午前10時30分

歌声の聞こえる心豊かなまちづくりを目指し活動してきました。今年

で結成23年目を迎えますが、今回のコンサートをもって解散します。ぜひ最後のコンサートを聞きにきてください。

主催 七尾市和倉公民館

連絡先 岡田

☎0767(62)2084

七尾人の僕が作家になった理由

10月29日(土)

開演 午後1時30分

杉森久英に続く七尾の作家たらんとはげむ、七尾高校出身の城山真一氏が第14回「このミス」大賞を受賞しました。『ブラック・ヴィーナス投資の女神』が刊行され、講演のあと、サイン会も実施されます。

主催 杉森久英記念文庫活用研究会

連絡先 村本

☎0767(53)4104

児童虐待防止

オレンジリボンキャンペーン

映画『きみはいい子』上映会

11月19日(土)

開演 午後2時30分

児童虐待防止推進月間(オレンジリボンキャンペーン)の活動として、児童虐待について考えるための映画『きみはいい子』の上映を行います。ぜひ観にいらして下さい。

主催 七尾市役所 子育て支援課

連絡先 ☎0767(53)8445

友の会ナイト★ギャラリートーク報告

4月23日(土)閉館後の午後6時から「長谷川等伯展」等伯と一門の精鋭たち」のナイト★ギャラリートークが始まりました。参加者は6名。中には前日の内見会をご覧になられた方々もいて、等伯作品の魅力を改めて実感しました。

学芸員が1作品ごとに解説するなか「鳥梟図屏風」(大阪市立美術館蔵)では、日本昔話で知られる《ふくろうの染物屋》を引き合いに、武家から染物屋に養子に入った等伯自身を梟に、鳥を社会や自分を揶揄する者に投影する旨の話があり、参加者は描かれた梟に等伯の心情を思い描いていました。

また、「長谷川派」の構図の決まり事を踏襲した「涅槃図」が4点並んだ展示では、比較をしながら描き方の違いを探するなど、今でも残る色彩の美しさに感心し、修復された作品にも隔々まで見入っていました。

普段の展示室では静かな観覧を余儀なくされますが、今回は学芸員との対話型鑑賞を楽しみながら、等伯が生きた時代を空想し、作品が描かれた背景などを推理・推測するなど参加者は大いに楽しんでいました。



ナイト★ギャラリートーク鑑賞風景

照明や休憩コーナーから眺める夜景に非日常的雰囲気を楽しんでいました。

参加者の皆さんには、予定時間を過ぎてしまひすみませんでした。ご参加いただきありがとうございます。

第17回友の会「鑑賞の旅」参加者再募集!

「水野美術館と真田家

ゆかりの地を訪ねて」

日本画コレクションを誇る水野美術館を訪ねます。近代を代表する菱田春草や川合玉堂から、昭和の五山と称された杉山寧や平山郁夫にいたるまで、日本画の魅力を水野美術館の新しい企画で感じます。さらに、横山大観の名を一躍世に知らしめた出世作《無我》三作のうち、幻の一作も鑑賞します。

また、現在大河ドラマで注目を集めている戦国大名・真田氏。乱世を巧みに生きのびた真田一族ゆかりの地も巡ります。

日程…10月19日(水) 貸切バス利用

見学地…水野美術館、松代城跡、真田神社(長野県)

参加費…12,000円

定員…25名(対象は原則として成人)

参加費をご持参のうえ当館受付でお申し込みください。
※非会員の方は、この機会にご入会ください。(年会費1,000円)



横山大観「無我」1897年

ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、喫茶室でゆっくりおくつろぎください。

🐻 ボローニャ展限定メニュー

ボローニャパスタセット

【ミートソース】

ミニサラダ付(800円)

コクのあるトマトソースと牛肉の旨みのバランスが絶妙なミートソースパスタです。



チョコプリン

(450円)

ほどよい苦みとコクのあるチョコレートの風味が口の中に広がります。

是非ご賞味ください。



ランチメニュー、ケーキセット、ボローニャ展限定メニューをご注文のお客様には、本展出品品をモチーフにしたペーパーコースターをプレゼント!

《期間11/3〜12/11まで》

★友の会会員の皆様

会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10%割引になります。(10円未満切捨)



これからの展覧会予定



平成28年12月16日(金)～平成29年2月12日(日)

◆第1展示室 「心にくる美のかたち ～絵画・工芸を中心に～」

私たちの周りには、色んな「かたち」があります。それは立体物に限らず、平面作品であっても同じです。本展では長年にわたって人々の心にくってきた様々な美のかたちや美の表現に焦点をあて、絵画と工芸作品を中心に約25点を紹介します。

「雪中美人図」(部分) 宮川長春 当館蔵(池田コレクション)



◆第2展示室 「彫刻作品との対話 ～石川県の作家を中心に～」

石川県ゆかりの彫刻作家たちが、様々な想いを込めて制作した作品約25点を展示します。日本近代彫刻の大家・平櫛田中に師事した七尾市出身の田中太郎が制作した昆虫と人間が合体した摩訶不思議な作品、同じく七尾市出身で、フランスに渡り活躍した高田博厚など、個性豊かな作品をご覧ください。

「椅子に寄り夢見るゆめ」田中太郎 当館蔵



平成29年2月25日(土)～4月23日(日)

◆第1展示室 「アニマルズ ～ツヨク・カワイク・ウツクしく～」

動物たちの様々な挙動。それは、「生命」の表出にほかなりません。この世界を精一杯生きて「生命」を全うする彼らの懸命な姿から我々は学び、癒され、そして感動を与えられるのです。本展では当館所蔵品より動物たちを表した作品を幅広く紹介します。

「唐津鳥形香合」 当館蔵(池田コレクション)



◆第2展示室 「風景画讃歌 ～What a wonderful scenery!～」

美しい風景は人びとの心を清め、穏やかにします。実景・想像上の景色を問わずそれらの風景は絵画化され、国や人種、時代までも超えてより多くの人びとに共有されてきました。本展では様々な風景が描かれた作品を、当館所蔵品より絵画を中心に紹介します。

「山水図」長谷川信春(等伯) 当館蔵

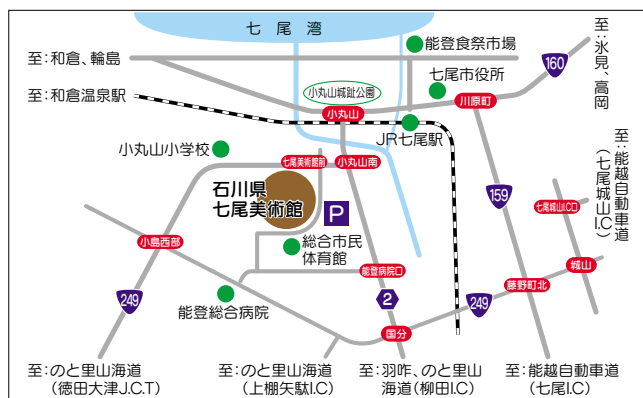


割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット



エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESpot」をご利用頂けます。



●飛行機…のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分 ●車…「のと里山海道」徳田大津JCTから約15分又は「能越自動車道」七尾城山IC又は七尾ICから約10分 ●タクシー…JR七尾駅から約5分
●徒歩…JR七尾駅から約20分 ●市内循環バス「まりん号」…JR七尾駅前「ミナ.クル」バス停から「七尾美術館前」下車(順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便) ●ななおコミュニティバス「ぐるっと7」…JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台1丁目」下車(西コース約10分、1日4便)

◎次号・第88号(冬号)は1月1日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土	2016
						1	10
2	3	4	5	6	7	8	October
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

日	月	火	水	木	金	土	2016
						1	11
2	3	4	5	6	7	8	November
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

日	月	火	水	木	金	土	2016
						1	12
2	3	4	5	6	7	8	December
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

◆10月～12月カレンダー◆
開館時間 ◆午前9時～午後5時 ◆※は休館日
(入館は午後4時30分まで)